

市民生活協同組合ならコープ

本社所在地▶奈良市 業種▶卸売、小売業

奈良 → 大阪 → 奈良

Uターン



企業情報は80ページをご覧ください

Talker Data



採用担当者

もちづき ゆうへい
望月 悠平さん

業務支援本部
人事部
採用・教育担当



Uターン経験者

ふじかわ りょうた
藤川 良太さん
2019年入社

田原本支所
地域担当

生まれ育った場所だから、いろんな方と信頼関係を築きやすい。

奈良に戻ろうと思った理由は？

藤川:私は奈良の斑鳩町生まれ。大学卒業後も奈良から大阪の会社に通勤していました。大阪に引越したのは、結婚がきっかけです。妻の実家が大阪なので。

望月:お子さんが生まれるのを機に転職されたんですよね。

藤川:そうです。カーディーラーで営業をしていたんですが、土日に仕事があるし帰宅時間も遅い。このままじゃ子育てに参加できないと思って。でも、最初は大阪で転職先を探していたんですよ。奈良に戻るといのは、妻からの提案。「転職するなら、子育てがしやすい奈良に引っ越そうよ」って言われて。斑鳩町って、福祉制度がすごく充実しているんです。「だったらそうしよう」ということで、奈良で転職先を探すことになったというわけです。

望月:私が人事課に異動したのは、藤川さんが入社した後なので直接採用には関わっていないんですよね。ならコープに入ろうと思った決め手は何ですか？

藤川:実家の母が宅配を利用していたし、私自身コープの店舗によく行ってたし。



馴染みがあるというか、安心感がありました。それに、ディーラーに勤めていただけあって運転が好きなんです。人と接する仕事なので、営業経験も活かせると思い決めました。

奈良の会社で働く魅力は？

藤川:地元だからなんでしょうけれど、やっぱり奈良の人との方が接しやすい。県民性というか、奈良はのんびりしていて穏やかな人が多いように感じますね。大阪出身の妻いわく「奈良県民は時間の流れが違う」って(笑)。

望月:生協の配達をしていると、組合員さんと週に1度は必ず顔を合わせるし、とても距離が近いですよ。私も4年間、配達の仕事をしていたので、組合員さんと接するときの穏やかな雰囲気とか、よくわかります。

藤川:そうなんです。何度か顔を合わせるうちに世間話ができるほどフランクに打ち解けられる。仕事に慣れるのも早かったですね。

望月:コープでは組合員さんとの信頼関係をつくっていくことが大事なので、藤川さんのように相手の気持ちになって考えられる方は、本当に合っていると思います。

Uターン採用で重視するポイントは？

望月:やはり「奈良が好き」というところは外せないですね。実際、応募される方もそういう方が多い。県外への転勤はないの

で、そこに魅力を感じて来られる方も多いですね。Uターンという括りでいえば、藤川さんのように奈良出身に戻って来られる「Uターン」が大半。やっぱり「コープは昔から馴染みがあるから受けてみた」というケースが多いです。

藤川:私もそうでした！WEBの求人サイトを見ていたときに「あ、ならコープだ」って、すぐ目に留まりました。

望月:面接の時の印象はどうでした？

藤川:最初こそ緊張しましたが、すぐに楽しい雰囲気になりましたね。まず、私の履歴書を見て「この写真よりちょっと太ったよね」って言われて。この会社なら楽しく働けそうだなって感じました。面接対策なんて全くしてなくて、「子育てに参加したいから受けました」と話すと相談にのってもらえましたよ。

望月:採用する側も、「ならコープでどんな働き方をしたいか」というのを伺いたいと思っているので、そういう姿勢は大正解です！

やっぱり、奈良の良さは？

藤川:「人」ですね。私は性格的にマイペースなので、奈良の人とだと仕事がしやすい。人間関係を築きやすいように思います。

望月:私の妻も藤川さんの奥さんと同じ大阪人なんですけど、「奈良の人ってすごくやさしい」って言っています。それと、奈良はやっぱり暮らしやすい。都会ではないけれど、公園とか遊ぶところはたくさんあるし子育てもしやすい。私も大好きです。